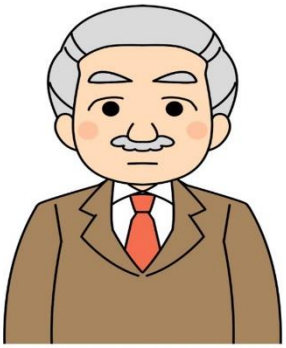
ピグマリオン効果

心理学マンガ教材

心理学紙芝居

中小企業



A部長

こちらは、Ａさんです。
Ａさんは、とある中小企業の部長職として、毎日を一生懸命がんばっていました。

実は、このＡ部長には、ある悩み事がありました。

『はー、先日、期待していた新人の社員さんが、突然、退職してしまった。
彼には入社してきたときから、なにか、光るものを感じていたので、特に期待していたのに、突然退職してしまうとは、寂しいものだ』

『でも、不思議なもので、入社してきたときには、この子、大丈夫かなって思うような子がグングン伸びてきたりすることもあるんだよなぁ。
人の成長可能性って、本当に、全然わからないよなあ。かくいう私も、人のことなんて全然言えなくて、入社して３年間くらい、毎日、すいませんしか言ってないくらい、ミスばっかりしていたもんなぁ。っていうか、私の人生失敗だらけだもんなぁ。我ながら、よく生きているなと。あはは』

『だから、入社の際の書類選考とか、面接とかでは、誰が伸びるとか伸びないとか、全然わからないんだよなぁ。
　いったいどうしたら良いんだろうか？』

『そうだ、先日、我が社の人財育成の研修を担当してくれた研修講師の先生に相談してみよう』

　こちらが、研修講師のＢさんです。

『どうも、Ａ部長、お世話になっております。先日はありがとうございました。
　ところで、今日は、どういったご相談ですか？』

『あ、どうも、Ｂさん、お世話になっております。今日はですね、人財育成についての相談なんです。
　というのもですね、先日、とても期待して育成していた社員さんが突然退職してしまったんです。とても落ち込みました。
　そうかと思うと、他方で、当初、この子はなかなか伸びないかもしれないなぁと思った子が、しばらくしてからグングン伸びてきたりするんです
　結局、書類審査や面接で、人が伸びるかどうかって、全然判断できないものですから、どうしたものかと思いまして』

研修講師

Bさん

『なるほど、それはよく聞かれるお悩みの一つですよね。　そして、すみません、私にも、書類審査や面接で、人の成長可能性、伸びるか伸びないかというのは、判断できるのものなのかどうか、わからないのです。
　ただ、こういったご相談の際に、いつもお伝えしている心理学の研究結果があるので、それをお伝えしても良いですか？』

**ロバート・
　ローゼンタール先生
小学校で知能テスト
　素晴らしい素質
　　を備えた生徒**

『おお、ぜひ、教えて下さい』

『はい、ピグマリオン効果と言われている研究がありまして、たとえば、ロバート・ローゼンタール先生の研究では、ある小学校で知能テストを行いまして、各クラスの教師の方に、それぞれのクラスに素晴らしい素質を備えた生徒がいて、その生徒たちはこれから伸びる最大の可能性を持っていると伝えたそうです』

- **本人に言わない**
- **教える時間
　　を変えない**
- **監視する**

『そして、そのことを本人には言わないように、また教える時間を増やしたり減らしたりしないようにと伝え、それについては監視するとも伝えたそうです』

**実は
　平凡な成績で
　実験のため無作為に
　選ばれた生徒だった**

『しかし、実は、その生徒たちは、知能テストはきわめて平凡な成績で、実験のために無作為に選ばれた生徒だったのです』

一年後
知的能力
飛び抜けて
良くなっていた

（出典「幸福優位７つの法則」
ショーン・エイカー：徳間書店）

『一年後、再び知能テストをすると、なんと、その生徒たちの知的能力は飛びぬけて良くなっていたそうです』

『なるほど、この研究結果はとても面白いですね。こういった研究があることは知らなかったのですが、期待された人が伸びていくというのは、なんだかわかる気がします』

・ピグマリオン効果

『ありがとうございます。ちなみに、逆に、期待されなかった人が伸びなくなっていくことは、ピグマリオン効果の反対で、ゴーレム効果というそうですね』

・ゴーレム効果

『なるほど、逆もまた然りということで、期待されないということもまた言外に伝わってしまうのでしょうね。人間なので、それもなんだかわかる気がします。

そっかぁ。なるほど、期待した人は伸びやすいし、期待されなかった人は伸びにくいということであれば、やっぱり、誰が伸びていくかわからない以上、私は上司として、とにかく、目の前の社員さん達はこれから必ず成長するだろうと、たくさんたくさん期待して、信じ続けてみたいと思いました』

『おお、それは良いですね。
　私も、いつも部下のために心を砕いているA部長なら、部下の方のためにますます頑張られると信じています。私ももっと喜んでもらえる研修ができるように、そう期待してもらえるように、がんばりたいと思います』

『なるほど、みんなでお互いに期待し合うって良いですね。ありがとうございます。がんばります』

＜参考＞
「期待していた新人が育たなかった・・・」
「想定外の人財が成長してきた・・・」
「面接で人の成長可能性を
予想するのは難しい・・・」

人財育成の場面でよくあるお悩みについて、どのように応援していくかはケースバイケースのため、誰にも正解のわからないことであり、悩ましい問題であると思います。

そのような場面で、一つの考え方として、心理学の実験をご紹介して、参考にしていただくというアイデアもあると思います。

そこで、今回は、「幸福優位７つの法則」ショーン・エイカー（徳間書店）１１８頁に掲載の実験データをご紹介させていただく物語を創作しました。

人は期待されると言外にそれが伝わって成長しやすくなるというお話は、素朴に納得できる理論であると思い、ご紹介させていただきました（この物語は制作時点の情報に基づいているため、最新情報の確認を推奨します。）。